

2014 年 2 月 12 日

産業用ロボットベンチャー スキューズ株式会社への出資を決定

株式会社産業革新機構(以下「INCJ」)(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:能見公一)は、スキューズ株式会社(以下「スキューズ」)の第三者割当増資を引受け、国内外への事業展開加速に必要な資金として 5 億円を上限とする投資を行うことを決定しました。

スキューズは、製造工程の自動化(ファクトリーオートメーション)支援事業と、ロボットの開発・製造事業を行う産業用ロボットベンチャーです。同社は清水三希夫氏が 1997 年に創業して以来、工程自動化のための機器の組立や制御ソフトウェアの開発などを通じて実績と技術ノウハウを積み上げ、近年、人間との共同作業に適したロボット本体や人間と同様に食品などの柔らかい素材も取り扱うことのできる 5 指ロボットハンドなどの独創的な産業用ロボットの開発にも成功しました。現在は、食品メーカーや自動車メーカーと共同して、未だ人手に頼っている製造プロセスの自動化実現に取り組んでいます。

自動車業界などでは早くから自動化が進んでおりますが、人の近くで活動するロボットの安全確保の技術的難しさ、費用対効果の不透明さなどの面で、ロボットの導入の難しい工程が残されております。また、食品製造業界では、国内では人材確保難や衛生問題、海外においても労務管理問題や人件費上昇から、製造プロセスの自動化ニーズが年々高まっております。こうした状況下において、スキューズのロボットは、低コストでありながら、人間との共同作業が可能で、人手に頼った作業(ピック&プレイス等)の自動化に貢献することが出来ます。

INCJ は、スキューズに対して必要資金を提供するとともに、社外取締役を派遣し今後の事業に対する助言や業務体制の構築等の経営サポートを行います。

本投資は、オープンイノベーションを通じたロボット・メカトロニクス領域メーカーの創出を目指し、我が国の製造現場からの直接のニーズに応えた提案を続けているロボット・メカトロニクス領域のベンチャーに投資を実行するものです。INCJ は、呼び水としての資金提供にとどまらず、日本のロボット・メカトロニクス業界全体、さらには製造業全体の活性化に貢献します。

スキューズ株式会社について

設立	2002 年 4 月
事業内容	SI事業、産業用ロボットの製造・販売
本社所在地	京都市南区吉祥院新田貳ノ段町 106
代表取締役	清水 三希夫(しみず みきお)
ホームページ	http://www.squuse.co.jp/

株式会社産業革新機構(INCJ)について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。INCJ では、これまでに合計 57 件・総額約 7000 億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスや IT の分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

(株)産業革新機構 企画調整室 伊藤・望月・畑
東京都千代田区丸の内1-4-1
丸の内永楽ビルディング21階
電 話:03-5218-7200(大代表)